

第一学年だより

町田市立薬師中学校
第1学年
令和7年6月27日
第13号

期末考査の手ごたえ

3日間にわたる期末考査がやっと終了しました。初めての定期考査で、しかも9教科もありましたので上手に計画を立てて取り組まないと難しいですね。まさかとは思いますが、勉強をせずに終わってしまった教科はありませんか？今回の経験をもとに、次回のテストの取り組み方を考えていきましょう。また返却された答案用紙をもとに、間違えたところ、わからないところを拾い出して復習しましょう。これを機会に、うっかりミスや苦手なところを克服していきましょう。

さて、少し懐かしい気持ちになりますが体育祭の作文紹介です。今回の紹介は3組です。



「体育祭」

3組 生徒

僕は小さい頃から運動が苦手だった。

だから体育祭の練習で僕は運動が苦手だからとても心配だった。

中学校に入ったときに担任の小竿先生が「楽しいクラスを目指す」という一言を言った。

僕は体育祭は小学校の運動会の練習より過酷だと思っていた。けれど体育祭は楽しむことが大切だとわかった。それから練習が本格的に始まり、つらいときもあった。だが、僕も皆も楽しいという気持ちがあった。皆が作戦を考えることで僕も皆も楽しく練習に取り組んでいたから僕も全力で取り組めた。そして本番の日、僕はこれまで楽しくやっていたから緊張という気持ちは1ミリもなかった。全級リレーは3位で大縄も3位だった。イカダ流しはまさかの4位だった。負けて悔しかったが周りには楽しそうだった。僕もそれを見て、楽しい気分になった。そして結果発表の時間になった。結果は3位だった。悔しさはほんの少しだった。そして、楽しい気分でこの体育祭は幕を閉じた。

僕はこの体育祭で仲間と楽しみ、仲間と協力し何かを成し遂げる楽しさを学んだ。僕は最初、体育祭の練習はとても過酷だと思っていた。けれども、小竿先生の一語「楽しいクラスを目指そう」というたった一言で僕もクラスも変わった。辛いことがあっても楽しんで協力するクラスになっていたと思う。これこそが本当の協力だと思う。これからも全力で楽しく中学校の行事や生活をしていきたいと思った。この体育祭は楽しい思い出だと思う。

～来週の予定～

月・日・曜日	予 定
6月 30日(月)	朝礼
7月 1日(火)	パワーアップ教室数学
2日(水)	⑤集団下校訓練
3日(木)	パワーアップ教室英語
4日(金)	福祉体験①～⑥

「まさに楽協！」

3組 生徒

僕はこの体育祭で、「楽しく協力する」ことの大切さを実感しました。最初は、学級目標として、みんなで考えた「楽協」というたいせつなことを学級旗にいれる言葉として、みんなで楽しく、協力して体育祭に臨みました。

練習のとき、うまくいかないことがあっても、決してだれかをせめたりせず、あのときどうすれば良いかを円になって話し合いました。1人だけが意見を言うのではなく、いろいろな人の視点から考えられるようになるべく多くのひとが意見を出すようにしました。学級練習や学年練習のときは、体育委員が中心になってみんなで話し合いなどをしましたが、みんなも協力して、体育委員だけでなく、保体係やみんなをまとめようとしてくれる人が話し合いをまとめました。もちろんみんなも、そのようにまとめようとしてくれる人の話をしっかり聞いて、意見をだしたりしました。練習の時から、みんなで団結して、本番までにたくさん練習をしました。予行練習が終わったあとの、学活や、給食までの空き時間には先生や体育委員がいなくても、教室にいる保体係が中心となって、その日の振り返りをしました。課題が見つかったら、それをどうやって解決するのかという案をみんなでだしたり、良かったことをみんなで出して、本番当日にもこのまま良いところを続けて出そうとしました。大縄跳びでは、実際に採用はされませんでした。が、「掛け声の(せーの)がほかの学年、クラスと一緒に分かりづらい」という意見がでたので、みんなで何を掛け声にするかをかんがえて、実際に教室でやってみて、みんなの声が揃うものになりました。結局、一番声が揃うのは「せーの」でした。けれど、みんなが協力できるから、声が揃うのだと僕は思います。みんなの声が揃うのは、みんなが協力し、強く団結していることの証だと思います。また、小竿先生が当日着用する「楽協ポロシャツ」には、続々と、みんなの熱いコメントが書かれていきました。まさに、全員が協力して書いた、世界に1つだけのポロシャツになりました。さらに、黒板には、みんなの「楽協」という本番に対する、気持ちが込められているアートができました。体育祭は雨で何日も延期しましたが、2日間、黒板アートにたくさんの絵が描かれていきました。

本番当日。みんなが待ち望んでいた体育祭本番がやってきました。ここまで、深めてきた団結力と、練習の成果を発揮する時がきました。筏流しでは、競技中に、みんなで「パッション」や「いけるよー」などのポジティブな言葉をかけていて、みんなで心をつなぐことができました。大縄跳びでは、リスタートを大切に、1回引っかけかかっても気持ちを素早く切り替えて、みんなで頑張りました。学級リレーでは、これまでいろいろ試行錯誤してきたバトン渡しの練習の成果を出しました。みんな最後まで諦めずに学級全員、そして、小竿先生の思いが詰まったバトンを最後までつなぐことができました。それぞれの種目の結果がどうであれ、結果発表のときには、みんなで盛り上がり、お互いの頑張りをたたえあいました。

僕は、この体育祭で、多くのことを学ぶことができました。「団結、協力すること」や「楽しむこと」、「仲間」の大切さなどを学びました。この体育祭を通して、1年3組の団結力を強くすることができました。この体育祭で学んだことを活かして、1年間頑張っていきたいと思います。

クラス全員の思いが濃く深くなった瞬間でしたね。互いを大事な存在として大切にできることは、とても素晴らしいことです。それまでの活動の中には仲間のミスを許す気持ちや健闘を称える気持ち、また自分のミスを詫げる気持ちなども含まれています。練習を通して様々な気持ちを超越したからこそ「やっぱり大切なメンバー」と互いを思える領域に達したのですね。この絆を大切に！さらに後半の行事に向けても楽しく頑張りましょう！